

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2005-4189(P2005-4189A)

【公開日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-001

【出願番号】特願2004-145903(P2004-145903)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 1 1 A

G 09 G 3/20 6 1 2 T

G 09 G 3/20 6 2 1 A

G 09 G 3/20 6 2 1 D

G 09 G 3/20 6 2 2 E

G 09 G 3/20 6 2 2 F

G 09 G 3/20 6 2 3 H

G 09 G 3/20 6 2 4 B

G 09 G 3/20 6 3 1 K

G 09 G 3/20 6 3 1 U

G 09 G 3/20 6 3 2 F

G 09 G 3/20 6 4 1 E

G 09 G 3/20 6 6 0 U

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月14日(2007.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光素子と第1の記憶回路と第2の記憶回路とを有する画素と、

前記画素を複数個配置した表示部と、

前記表示部を制御する複数のデコーダと、

前記複数のデコーダを制御する表示制御回路とを有し、

前記表示制御回路は、

前記第1の記憶回路に記憶された第1のデジタル信号を読み出して発光素子へ送り、前

記第2の記憶回路に第2のデジタル信号を入力する場合と、

前記第2の記憶回路に記憶された前記第2のデジタル信号を読み出して発光素子へ送り、前記第1の記憶回路に第3のデジタル信号を入力する場合と、を切り替える手段を有し、

前記第2のデジタル信号の入力が終了してから前記第3のデジタル信号を入力するまでの期間において、前記画素へのデジタル信号の入力を停止する手段とを有することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記表示制御回路は、

前記表示制御信号線を介して前記発光素子の発光時間を制御する手段を有することを特徴とする表示装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記表示制御回路は、前記発光素子の発光時間を前記デジタル信号の各ビットに応じて制御することによって階調を表現する手段を有することを特徴とする表示装置。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか一において、

前記表示制御回路は、

一定の周期でデジタル信号を受信する手段と、

フレーム期間が始まるときに、前記フレーム期間の最初のデータを前記第1記憶回路または前記第2の記憶回路の一方に書き込む手段と、

前記2つのフレーム期間で同じデータを受信する場合において、前記2つのフレーム期間で同じデータを表示させる手段と、

前記フレーム期間が終了した後、1フレーム分のデジタル信号の受信が終わるまでの期間は前記画素へのデジタル信号の入力を停止させる手段とを有することを特徴とする表示装置。